

## CONTENTS

1	養殖用種苗生産速報 ACN・総評	1-2
	《2004年9月～2005年8月の種苗生産動向》	
2	防疫概況 サン・ダイコー(株) 藤原和宏	3
3	養殖概況 日清丸紅飼料(株) 中谷 充利	4
4	新入会員企業紹介	5
	バッセル化学株式会社	

# 養殖用種苗生産速報

## 2004年9月～2005年8月

### 1. マダイ

真鯛

#### 出荷数は回復傾向だが価格は横這い

■出荷尾数 4,850 万尾まで回復(昨年比 21%増)

2年連続して減少を続けた養殖用種苗出荷尾数は4850万尾(民間25社の推定尾数)で昨年比850万尾(21%)回復した。昨年は台風被害で数社が甚大な被害を受けたもののイリドウイルス症被害も比較的軽微でしかも無償添付出荷尾数も10%を超える場合もあり売上出荷尾数以上に在庫はあるものと推定される。

■成魚価格安定、スズキ追隨

近畿大学、山崎技研、バイオ愛媛、ヨンキュウなどマダイ種苗大手は出荷まで一貫生産管理しているが、別途分業生産方式もあり種苗業者の経営方式にも変化の兆しが見える。

成魚価格はキロ物(1kg/尾)600～650円/kg(2003年に比べ100～150円/kg up)で安定している。夏季に在庫減少する大型サイズ(2kg/尾)も従来なら価格が上昇するところであるがキロ物同等650円/kgである。

その一方で福岡、広島ではスズキに人気が出てきており価格もマダイを追い越し850～950円/kgまで上昇してきている。

### 2. トラフグ

虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚虎河豚

#### 終盤に来て引き合い増加で不足感

■長崎県産種苗 52%占有

養殖用種苗出荷尾数は980万尾(民間26社・公共1事業場)で昨年比130万尾(13%)減少し、1昨年比370万尾の減少となった。このうち長崎県の業者が長

崎種苗、大島水産種苗など12社で出荷尾数513万尾(52%)であった。

■後半の供給逼迫

今年の種苗需要は早期物の動きが鈍くそのため種苗場のタンク繰りがつかず、次のラウンドの仕込に支障が起こり結果として後半の生産量が減少した。



# 防疫

## ヒラメ、淡水魚用ワクチン登場

# 概況

藤原 和宏

(株)サン・ダイコー 水産事業部

-ふじわら・かずひろ  
1969年生まれ  
鹿児島大学 水産学部卒業  
入社11年目・水産事業部水産企画  
担当  
趣味「出張」(?)

2003年7月の薬事法改正に伴い、未承認医薬品の使用が禁止されました。そこで今回は、特に使用できる医薬品が少なく、新型ワクチン・代替薬の承認・開発、また、医薬品使用対象魚種の拡大が強く望まれていましたズキ目以外の魚類(ヒラメ、フグ、淡水魚等)を対象に、新たに承認、発売された商品について、ご紹介させていただきます。

### ～魚卵消毒剤“パイセス”《ノバルティス アニマルヘルス(株)》について～

サケ、ニジマス、アユ等のニシン目魚類のふ化場では、受精卵がふ化するまでの間に死卵が発生すると、それらにミズカビが寄生することから、その対策が必須であります。

“パイセス”(有効成分はプロノポール)は、欧米のサケ科魚類のふ化場において既に使用が認められ、国内でも今年2月輸入承認がなされたニシン目魚類の魚卵消毒剤です。

#### 【成分・分量】

本品1L中、プロノポール500g含有

#### 【効能・効果】

ニシン目魚類:孵化を目的とした魚卵消毒

#### 【用法および容量】

受精後24時間から発眼卵として検卵するまで飼育水1L当り本剤0.1mlを均一に混ぜ(プロノポールとして50mg/L)、1日1回30分間薬浴する。ただし、流水下(滴下式)で使用する場合には、以下の計算式によって投薬時間及び本剤必要量を算出すること。

・投薬時間(分) = 飼育水槽容量(L) ÷ 流量 + 30

・本剤必要量(mL) = 《{流量(L/分) × 投薬時間(分)} + 滴下用水槽及び配管容量(L)》 ÷ 10

### ～ヒラメβ溶血性レンサ球菌症不活化ワクチン“Mバックイニエ”【川崎三鷹製薬(株)】について～

ご承知の通り、水産業界でのワクチンは、ブリ等ではすでに実用化され、抗生物質に替わる病原体対策の手段として、急速に取り入れられるようになりましたが、ヒラメ用のワクチンはありませんでした。

“Mバックイニエ”は、ヒラメの重大な感染症のひとつといえるβ溶血性連鎖球菌症を有効的に予防する、国内初のヒラメ用ワクチンです。

#### 【成分・分量】

ワクチン 1バイアル(100mL中)

主剤:不活化ストレプトコッカス・イニエ・F2K株  
不活化前菌数・ $1 \times 10^{11}$ CFU以上

保存剤:日局 ホルマリン・0.3vol%以下

溶剤:リン酸緩衝食塩液・残量

#### 【効能・効果】

ヒラメのβ溶血性レンサ球菌症の予防

#### 【用法および容量】

ヒラメ(体重約30～300g)の腹腔内(有眼側胸鰭基部から胸鰭中央部にかけての下方)に連続注射器を用い、0.1mLを注射する。

何れも今年発売されたばかりですので、現場での評価及び効果につきましては、改めてご報告させていただきます。

## (株)サン・ダイコー

### 水産事業部関係事業所

■鹿屋営業所	鹿児島県鹿屋市寿4-5-41 ㊦893-0014	TEL0994-44-9599・FAX0994-43-9085
■出水営業所	鹿児島県出水市六月町412 ㊦899-0126	TEL0996-67-4848・FAX0996-67-4833
■天草営業所	熊本県本渡市亀場町食場友尻825 ㊦863-0046	TEL0969-23-9075・FAX0969-23-4030
■佐世保営業所	長崎県佐世保市店田2-195-1 ㊦859-3223	TEL0956-38-6312・FAX0956-38-6500
■佐伯営業所	佐伯市長島町1丁目13番14号 ㊦876-0813	TEL0972-23-8235・FAX0972-22-3092
■四国支店	香川県善通寺原田町1050 ㊦765-0032	TEL0877-56-5670・FAX0877-63-6588
■宇和島営業所	愛媛県宇和島市弁天町1-7-8 ㊦798-0006	TEL0895-20-0154・FAX0895-20-0153
■高知営業所	高知市大津乙30番1	TEL088-884-5533・FAX088-884-5533
■徳島営業所	徳島市論田町本浦上76番地 ㊦アスティス内 ㊦770-8011	TEL088-663-8280・FAX088-663-7015

# 養殖

# 概況

中谷 充利

日清丸紅飼料㈱ 九州水産営業部 福岡水産営業所

## 1. ハマチ

今年度のモジャコ導入量は、解禁当初は不漁が続きましたが、採捕期間の延長などもあり、最終的には昨年を若干上回る導入となっております。今のところ、魚病による大きな被害もなく、おおむね順調に成育しております。しかしながら、今後は赤潮、ハダムシ等に注意が必要です。

成魚については、4月頃より急激に売れ行きが落ち込み、以降相場は低迷しております。生産者サイドとしては、例年通り産卵明けからの相場上昇に期待がかかっておりましたが、相場は横ばい(500円/kg台、昨年同時期は、700円/kg台)かつ出荷量も低調と大変厳しい市況となっております。また、3年生の在庫もかなり残存していると思われ、今後の懸念されます。

新物の出荷が四国では始まっておりますが、昨年と比較し、相場、出荷量とも低調であります。

## 2. カンパチ

今年度は、昨年秋に中国より導入した中間魚においてアニサキスが発見され、大きな問題となりました。今年度の導入尾数は、稚魚についてはほぼ昨年並みの導入となっております。しかし、中間魚については、アニサキス問題もあり、中国自体の生産意欲も低いことから、激減するものと思われれます。そのため、トータル尾数では減少するものと思われれます。

現在の浜相場は、3kgサイズ(船積み)で700円/kg前後(昨年同時期800円/kg)と低迷しております。現在のところ荷動きはまずまずであり、錦江湾では新物の出荷(サイズは、3.6~3.7kg)も7月中旬から始まっております。流通に関しては、冬場はブリ、夏場はカンパチとより色分けが鮮明になった観があります。

育成状況については、おおむね順調であります。四国においてはエラ虫寄生が顕著であり、対処に苦慮した地域もありました。

## 3. マダイ

マダイ稚魚導入量は、昨年並みに留まり、今年度も少なくなっております。成魚相場については、長期にわたり相場低迷が続いておりましたが、ここに来てようやく相場が回復してきました。現在相場は650円/kg前後と昨年同時期に比べかなり回復しております。しかしながら、浜相場の急激な上昇に市場がついていけず、相場がいつまで維持できるかは不透明な状況です。

魚病については、相変わらずエドワジェラ症による被害が大きく、その対策が急務となっております。また、2、3才魚においてベネデニア セキイによる被害も報告されております。

## 4. トラフグ

昨年从今年にかけての成魚相場は、中国物の輸入量増加やサイズの大形化等の影響を受け、2,000円/kg台(1kgもの)と低調な価格で推移しました。

輸入魚における寄生中等の問題もありますが、今年度も中国物の動向次第で、相場は大きく影響されると思われれます。

そのため、各業者早期出荷を目指すとともに、高品質な魚を作るべく日々努力しております。

稚魚については、低相場の影響で導入意欲が低かったこと、成魚の売れ行きが悪く在庫が残っていた事などの理由で、シーズン開始当初の荷動きは思わしくありませんでしたが、後半に入り活発な動きとなり、最終的には稚魚の数が不足した状況でした。

また、今年度は、寄生虫(カリグス)による被害が大きく、特に早期に導入した稚魚においてその傾向が顕著でありました。

# 新入会員企業紹介

# バッセル化学株式会社

入会に際してのご挨拶

## バッセル化学株式会社

(旧々社名:林兼ペイント株式会社)

(旧社名:ナテックス株式会社)

〒750-0074 山口県下関市彦島本村町6-10-6

TEL:0832-66-6261 FAX:0832-67-6192

この度、NPO法人アクアカルチャーネットワークに入会させて頂き、誠に有難うございます。

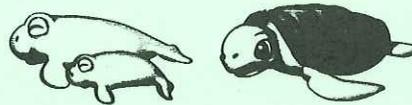
当社は、船底塗料、漁網防汚剤、銅イオン発生装置等、海関係製品の製造、販売をしております。

この入会を機会に、皆様からのご意見、ご要望を広く聞かせて頂き、水産業界の更なる発展に貢献度を高めて参りたいと考えております。

これからも倍旧のご指導を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2005年8月吉日

バッセル化学株式会社 技術部部长 大平 朗



© SANYO BUSSAN CO.,LTD.

## つくり育てる漁業・人と技術のネットワーク

# 残暑お見舞い申し上げます

平成17年8月

有限会社アイエスシー

上野製薬株式会社

クロレラ工業株式会社

コフロック株式会社

太平洋貿易株式会社

株式会社田中三次郎商店

日清丸紅飼料株式会社

積水化学工業株式会社

株式会社サン・ダイコー

有限会社西和マリンプロダクツ

林兼産業株式会社

バッセル化学株式会社

株式会社松阪製作所

株式会社山一製作所

ヤンマー株式会社

(団体正会員)

ACNは今年で15周年これからも共に歩みます。